



2020年6月5日

各 位

長野県北安曇郡白馬村大字北城 6329 番地 1  
会社名 日本スキー場開発株式会社  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 鈴木 周平  
(コード番号: 6040 東証マザーズ)  
問合せ先 財務経理本部長 佐藤 祥太郎  
電話番号 0261-72-6040

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年12月6日に公表しました2020年7月期通期の業績予想の修正について、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2020年7月期通期連結業績予想の修正 (2019年8月1日～2020年7月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,900	700	690	500	31円48銭
今回修正予想 (B)	6,030	300	300	170	10円71銭
増減額 (B-A)	△870	△400	△390	△330	
増減率 (%)	△12.6	△57.4	△56.5	△66.0	
(ご参考) 前年実績	6,628	629	634	607	38円22銭

#### 2. 修正の理由

当連結会計期間においては、昨年秋の台風19号による被害や暖冬小雪による悪影響を受けたものの、これまでのグリーンシーズン事業への取り組み強化や小雪対策投資により業績は堅調に推移しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、営業しておりましたスキー場を予定よりも早期クローズするなど、厳しい環境が続いております。2020年7月期第3四半期連結累計期間までの業績は本日発表しました「2020年7月期 第3四半期決算短信」にありますとおり、売上高は前年同期比215百万円(同3.6%)、営業利益は77百万円(同7.1%)の減少に止まっており、概ね当初の計画通り推移いたしました。

しかしながら、今後におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は収束傾向にあるものの、先行きは未だ不透明な状況が続いております。このような中、同第4四半期連結会計期間において当社運営施設の営業は再開しておりますが、外出の手控え等により来場者数は当初計画よりも減少して推移して

おり、この傾向が当会計年度末(2020年7月末)まで続くものとして想定した結果、売上高は当初計画を下回る見込みとなりました。また、仕入原価や広告宣伝費、旅費交通費等のコストの見直しも徹底しておりますが、営業利益も当初計画を下回ると判断し、通期業績を修正することにいたしました。

今後も継続して徹底的なコストの管理及び見直しに努めるとともに、新型コロナウイルスの感染拡大が与える業績への影響は慎重かつ保守的に検討し、開示すべき事項が発生した場合は、速やかに開示いたします。

### 3. 役員報酬の減額について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う今後の先行き不透明な経営環境を踏まえ、以下のとおり役員報酬の減額をいたします。

代表取締役社長	月額報酬の50%を減額	2020年6月より2カ月間
常勤取締役	月額報酬の30%を減額	同上

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上